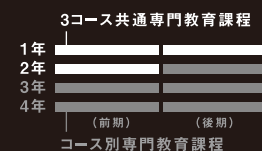


本学科では工芸と工業を一つにして、身の回りのデザインを総合的に考え学ぶことを特徴としています。自動車や家電製品、家具や室内空間といったデザインから、ガラス・木・土・布・金属の5つの基本素材から成るアートとプロダクトを作り上げることが出来ます。

「基礎」から得るもの

3コースで扱うさまざまな素材に触れ、モノづくりを支える知識などを修得する実習と演習です。この時期に幅広く他の領域を知ること、将来のクリエイティブワークを支える貴重な体験となります。



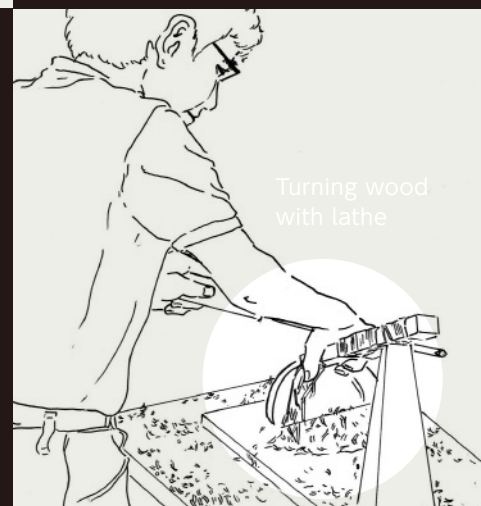
「原初」に学び
「未来」を見つめる

‘Nature and
Technology’

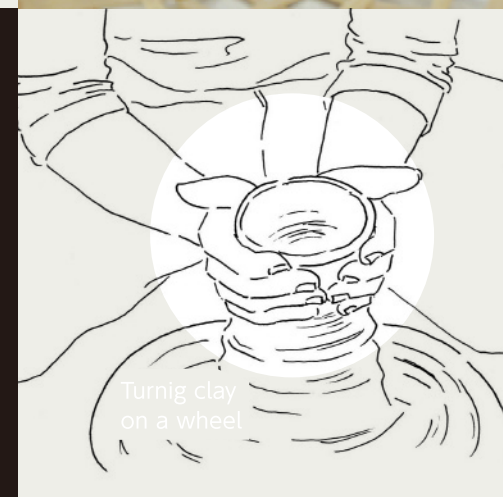


「道具」は深い

‘Tools’



国内外を問わず、企業と連携を図る産学共同研究やコンペの参加、海外の大学と交流を深めるワークショップ等を積極的に促し、国際的な視野に立ち作品制作・デザイン活動を行います。個人の[技]を最大限に引き出し、[知見]と[想像力]を高め、卒業後、最適なクリエイションができる力を身につけます。



「暮らし」をつくる

日常で使われるもの、街で出会うものほとんどのものに「デザイン」は存在します。私たちは「もの」を通してこれからの暮らしを作ります。

‘Life’

「社会」と
つながる

‘Social’

「身体」は
創造の原点

‘Human’



Blowing glass
off hand



「世界」に
広がる

‘Global’



「素材」を知る

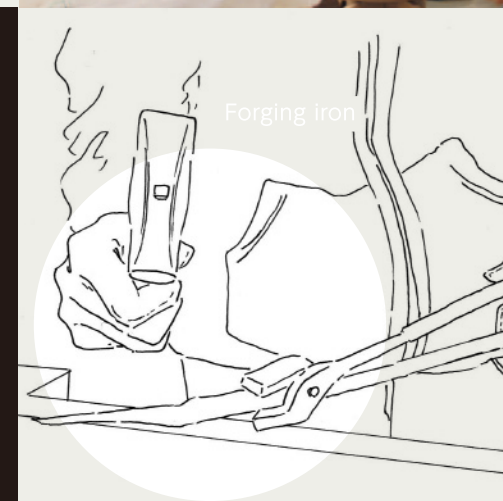
素材はそれを加工することによって様々な表情、造形を見せます。それは時に私たちに想像を超えた美しさを発見させてくれます。

‘Materials’



「手」は無限の
解像度を持つ

‘Hand’



専門分野を
深める

各コースの内容は中面をご覧ください。

‘Specialization’

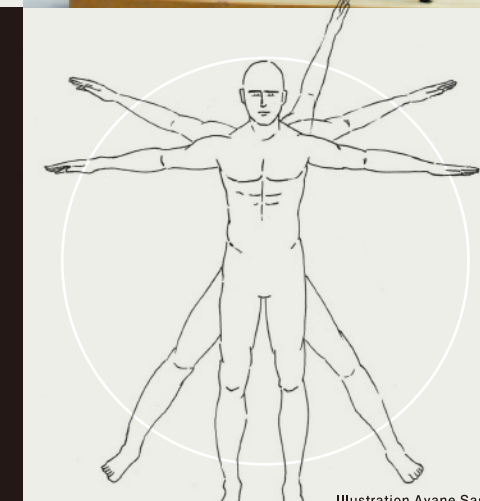


Illustration Ayane Sasaki



ゆらぎ / Saori Noda

WOOD WORK

クラフトデザインコース 木工専攻



教授＝十時啓悦

木は樹木であるときが一番美しいと思います。しかし人が穏やかに暮らすためには木の温もりが必要になってきます。近年、山間部の木々は乱伐あるいは放置され、森林環境が悪化しつつあります。それは海外から安価な製品から木材まで輸入され続けたことにあります。本来森林とは水と光がある限り無限の生産能力を有します。日本は世界でも有数の森林国で伐採、植林を進めることにより永遠に国を支える力のある素材であることは間違いありません。木工専攻では、木がより長く使われることを基本理念に置き、デザインすることで魅力あるプロダクト製品を考え創造の楽しみと環境への考察を深めてゆきます。



Walrus Chair & Table / Katsuto Isoyama

Airco / Shintaro Murao



土を喰う日々 / Aya Morishita



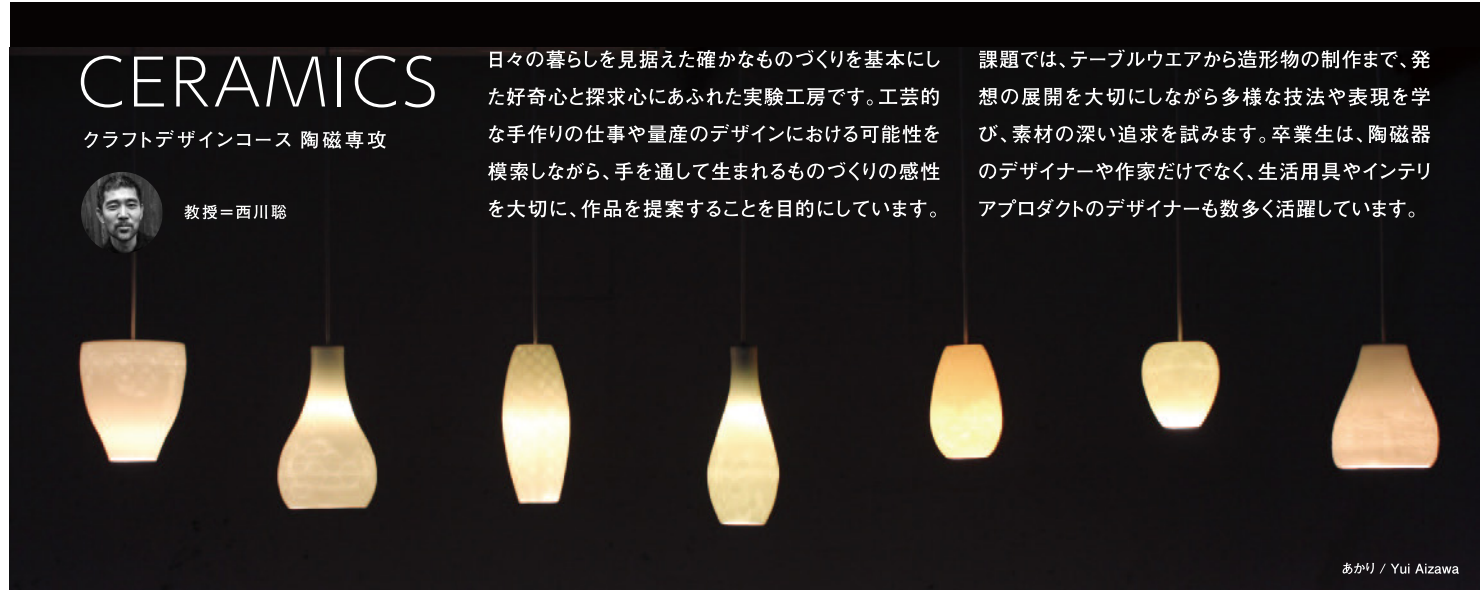
折り紙酒器 / Masaaki Hirano



bowl / Ayana Kage



Tile vase + / Saeko Miki



あかり / Yui Aizawa



教授＝西川聡

CERAMICS

クラフトデザインコース 陶磁専攻

日々の暮らしを見据えた確かなものづくりを基本にした好奇心と探求心にあふれた実験工房です。工芸的な手作りの仕事や量産のデザインにおける可能性を模索しながら、手を通して生まれるものづくりの感性を大切に、作品を提案することを目的にしています。

課題では、テーブルウェアから造形物の制作まで、発想の展開を大切にしながら多様な技法や表現を学び、素材の深い追求を試みます。卒業生は、陶磁器のデザイナーや作家だけでなく、生活用具やインテリアプロダクトのデザイナーも数多く活躍しています。

TEXTILE

クラフトデザインコース テキスタイル専攻

テキスタイルは、素材、色彩、形態で語られがちですが、「道具」Product Design、「伝達」Communication Design、「環境」Environment Designとしてより広く捉えることが出来ます。テキスタイルの課題は出来るだけ柔軟に考え始めることから出発します。人類の歴史と歩んできた繊維は、身体と空間、両面からの考察が必要です。その為に表現手段として、1、2年次での基本技術の習得後、3、4年次では各自が表現技法としてのオリジナリティーを探しながら制作してゆきます。



風景の鏡 Mirror of the scene / Aiko Yamamoto



Maiden Voyage / Saya Okura



准教授＝鈴木純子



lights / Rina Wada

機織りの歌 / Kaho Yamada

INTERIOR DESIGN

インテリアデザインコース

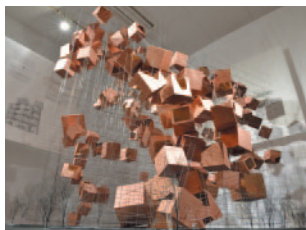


fiori / Mariko Konishi



教授＝伊藤真一
准教授＝山中一宏

変わらない存在としての人間の身体、進化する素材と構造、そして人々の暮らし、これら3つの要素を深く洞察することで得られる「気づき」からのアプローチを大切に、その関係を適切に構築することがよりよい室内環境を構想する力となると考えています。具体的には現場を知る調査研究、家具・道具と空間の相互関係を重視した設計アプローチ、原寸のディテールを手で触れて実際に加工することを通して学んでいきます。「人間の生活環境を時代に左右されない原初的観点から見つめ、これからの暮らしを地球規模で思考・志向・試行するデザイン」を行います。



Extensibility Architecture 伸張的建築 / Hiroki Yasuda



Quartz / Taichi Sekiguchi



Shirasu / Yumi Tsumuraru

GLASS MAKING

クラフトデザインコース ガラス専攻



教授＝大村俊二

日常生活をより豊かにしていくために、工芸としてのガラスと住空間などを装飾・演出するアートワークを通して、「ガラスに何ができるのか」その可能性を探索していきます。2年次でガラスの技術的基礎を学び、3年次からはそれぞれの学生が「自分の好き!」を深掘りしたのちそれを反映したデザインワークを進めていきます。自分のモノに対する価値観が徐々に

に固まるにつれ、それが社会とどうつながってゆくかを考え(コンセプトメイキング)制作の方向付けをしていきます。4年次は各自の感性を十分に発揮できるようサポートしながら、集大成である卒業制作に向かいます。一人一人がどのようにガラスとかがわっていかを発見し、ガラスにおける「用の美」に限らず「美の用」を世の中に提案していきます。



夢世界。記憶と想像の残像 / Ayumi Nishida



envelope / Satomi Oda



パラレル / Akira Nomi



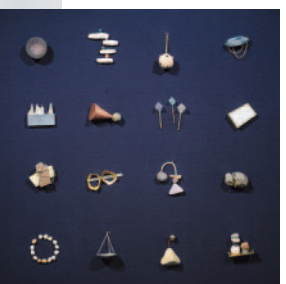
余韻 / Ayano Sasaki

METAL WORK

クラフトデザインコース 金工専攻



教授＝鈴木洋



空想石 / Makiko Sumiyoshi



encroach / Ai Nishiyama



RYUHYO / Tomomi Nakamura

日常生活で使われるテーブルウェア、キッチンウェア、ステショナリー等に加え、装飾品や装身具のデザイン制作も取り組んでいます。近年の急速なグローバル化により、人々のライフスタイルが多様化し、モノの価値は以前にも増して抽象化してきているように思います。それゆえ、

既成概念に囚われず、自由な発想から生まれる創意工夫、そして新しい表現の探求に特に力を入れています。素材は金属を主に使い、鍛金、彫金などの基本技法を習得しながら勉強することになりますが、異素材との併用、また新しい実験的な取り組みも積極的にを行っています。

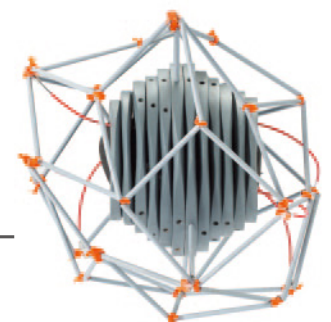
INDUSTRIAL DESIGN

インダストリアルデザインコース



教授＝稲田真一、中原俊三郎
准教授＝田中桂太

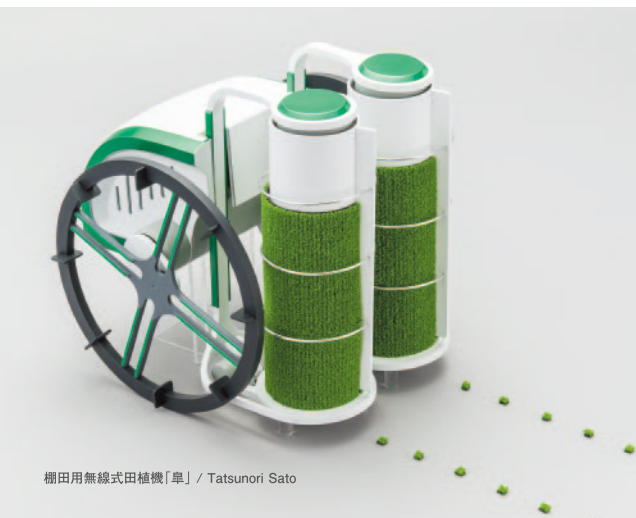
様々な工業製品全般を対象に、グローバル社会のニーズに応えるデザイナーの教養を身につけ、実践的なデザイン制作研究活動を行います。多様化する人々の価値観と絶えず変革する技術を見据え、次代を求める解決策に取り組む思考・表現力と、社会と連携を図るデザイナーを育成します。インダストリアルデザインは広範囲におよびます。将来プロのデザイナーとして活躍してゆくに、3年の前半からプロダクトデザインゼミとモビリティデザインゼミに分かれ、それぞれの専門性を深めていきます。



FUCA ～育てて話しかける、生き物のような玩具～ / Sho Aono



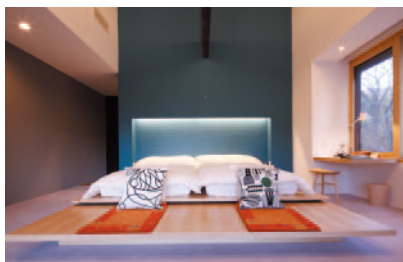
TRAM BUS / Yuma Hoshino



種田用無縫式田植機「草」 / Tatsunori Sato

社会とつながる取り組み

工芸工業デザイン学科では、企業、自治体とのコラボレーションでこれからの社会に向けたデザインの提案を行っています。
また海外の大学と国際交流プロジェクトを実施し、世界へ向けて発信していく人材の育成に取り組んでいます。



産学共同プロジェクト

「里山十帖(旅館)客室デザイン」
(株式会社自遊人産学協同プロジェクト:新潟県南魚沼市)
／インテリアデザインコース4年
古民家をリノベーションした旅館の1室をその土地の持つ特性を生かしたインテリアデザインを行った。



産学共同プロジェクト

「里山十帖(旅館)アメニティデザイン」に関する研究
(株式会社自遊人産学協同プロジェクト:新潟県南魚沼市)
／テキスタイルデザインコース4年・大学院
新潟県の伝統布:亀田織のオリジナルの布のデザイン提案。
またその布による商品提案。



産学共同プロジェクト

「2030年のモビリティデザインとそれを支える足回りのデザイン」
(株式会社ブリヂストン 産学協同プロジェクト)
／インダストリアルデザインコース3年



国際交流プロジェクト

「Bamboo Workshop Indonesia 2014」
／全学対象(基礎デザイン学科と共同実施)
バンドン工科大学にて「Bamboo for People」をテーマにした竹のワークショップを実施。プロトタイプを製作。



展示会出品

「2013インテリアライフスタイルショー」東京
／クラフトデザインコース・インテリアデザインコース4年
デザインプロダクト、リビング用家具、アクセサリー・ジュエリー、テキスタイルなど。見どころは造形力ある学生の新鮮なアイデアいっぱいの作品を展示。



国際交流プロジェクト

「木工芸ワークショップ」
／クラフトデザインコース木工専攻
スウェーデン、イエテボリ大学にてワークショップ。北欧家具で有名なスウェーデンとの国際交流を通してお互いの木工芸、道具、文化の違いを理解してそれぞれの歴史的背景を学んだ。



産学共同プロジェクト

「新しいサービスロボットの在り方とデザイン」
(株式会社 安川電機 産学協同プロジェクト)
／インダストリアルデザインコース3年



産学共同プロジェクト

「スポーツ用衛生マスクのデザイン開発」
(東京都「産学連携デザインイノベーション事業」プロジェクト2013)
／インダストリアルデザインコース3年